2026年度(2027年3月期)
第２四半期(中間期)決算補足資料

株式会社ダイヘン

２０２６．１１．５

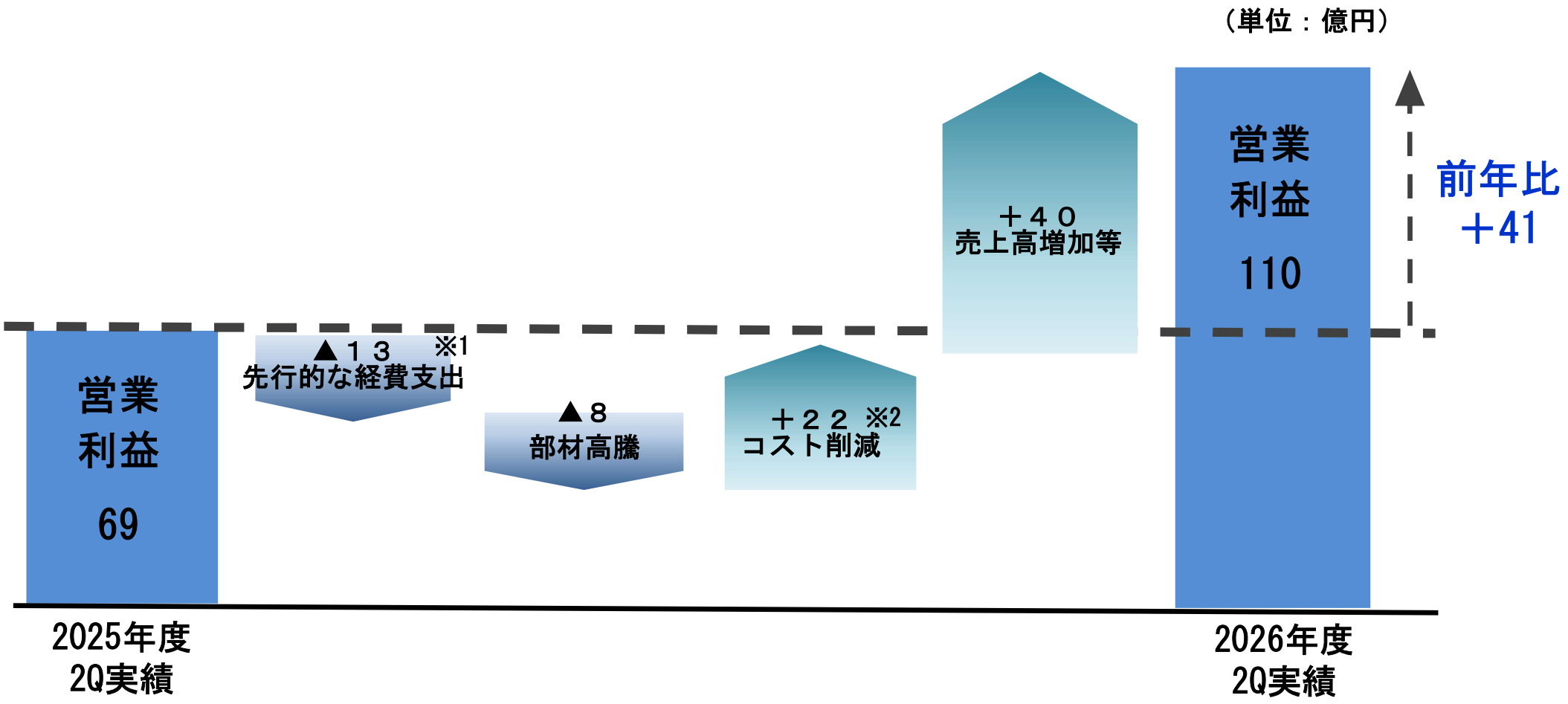
２０２６年度第２四半期業績

・電力インフラ関連投資と半導体関連企業の設備投資が増加、
生産自動化投資の回復も加わり、売上高･利益ともに過去最高を更新

（単位：億円）

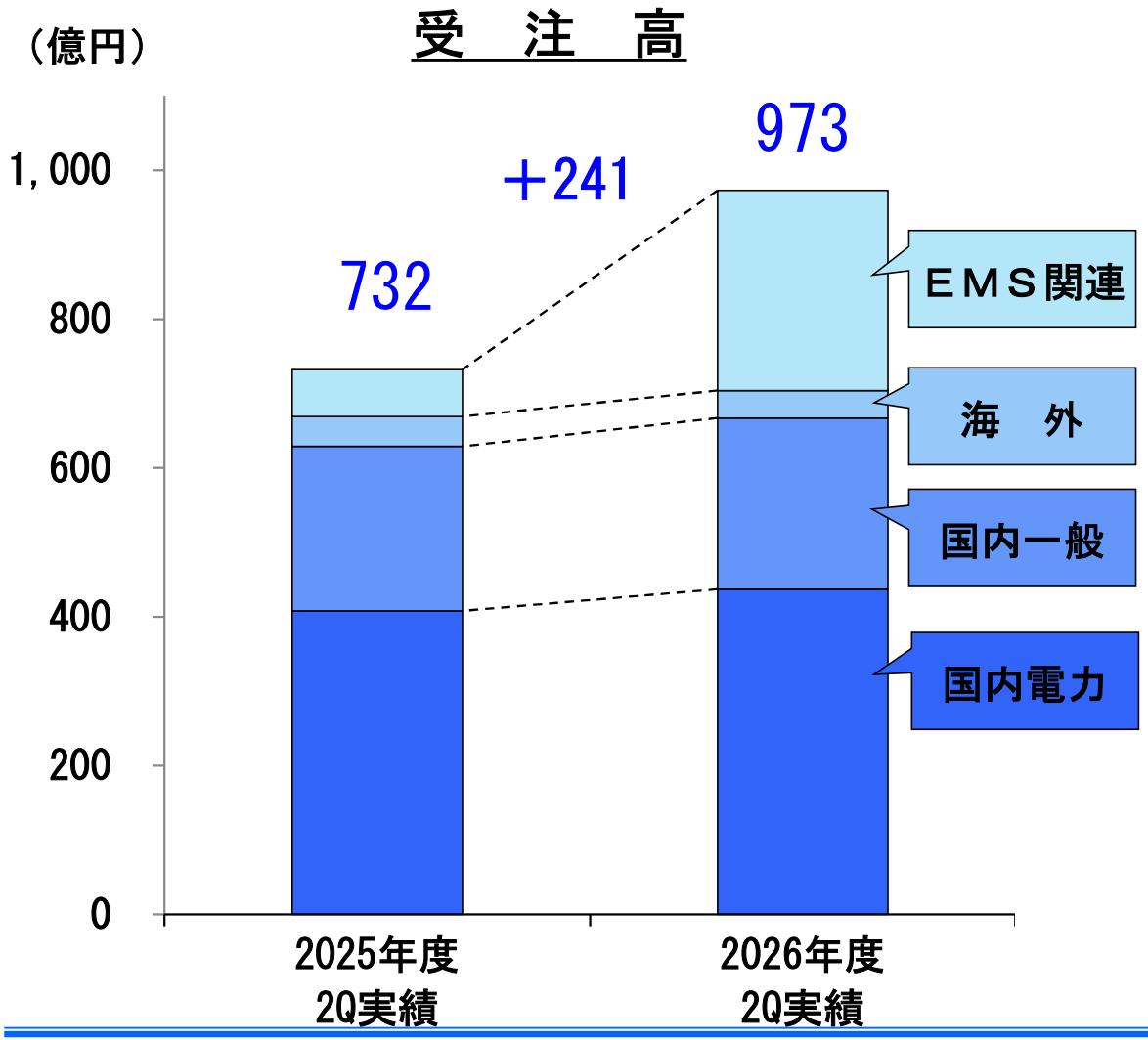
	2025年度 2Q実績 ①		2026年度 2Q実績 ②		前年同期比 ②−①	増減率	2026年度 2Q予想 ③		増減率
売上高	1,052		1,260		+208	+19.8%	1,250		+0.9%
1 エネルギーマネジメント	*539*		*587*		*+48*	*+8.8%*	*600*		*−2.2%*
2 ファクトリーオートメーション	*152*		*197*		*+45*	*+29.7%*	*190*		*+3.8%*
3 マテリアルプロセシング	*360*		*475*		*+115*	*+32.1%*	*460*		*+3.5%*
営業利益	6.6%	69	8.8%	110	+41	+60.0%	7.2%	90	+23.2%
経常利益	7.5%	78	9.2%	115	+37	+46.6%	7.6%	95	+21.8%
親会社株主に帰属する中間純利益	4.9%	51	5.8%	73	+22	+42.5%	4.8%	60	+22.8%
開発費投資額		35		41	+6	+17.1%			
設備投資額		62		77	+15	+24.2%			
減価償却費		31		38	+7	+22.6%			

2026年度第２四半期 営業利益変動要因(前年同期比)



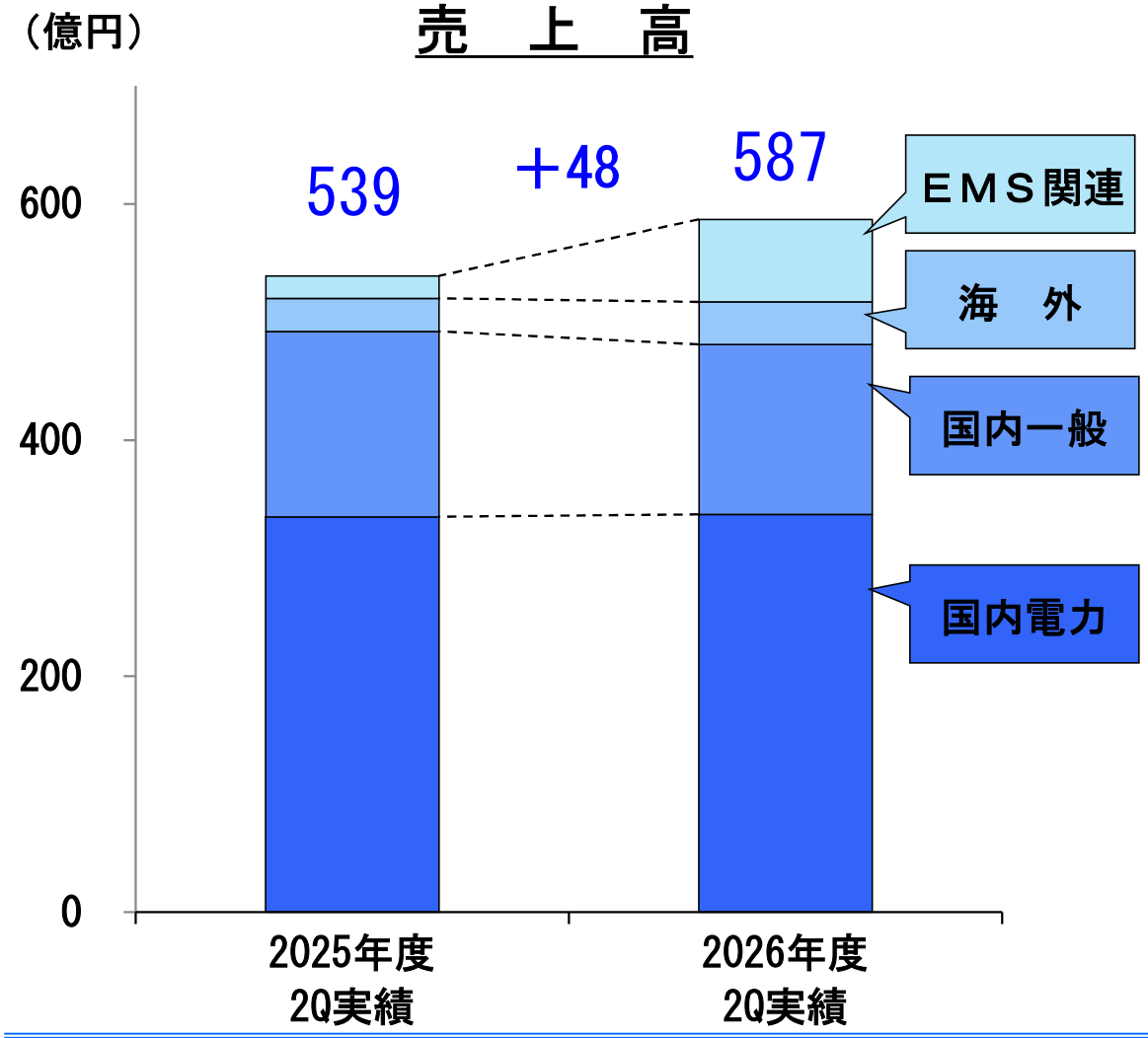
※1. 先行的な経費支出：開発費▲7　償却費▲6
※2. ｺｽﾄ削減　　：材料ｺｽﾄﾀﾞｳﾝ +12、生産性向上 +4、間接業務効率化 +6

「エネルギーマネジメント」セグメント　受注高

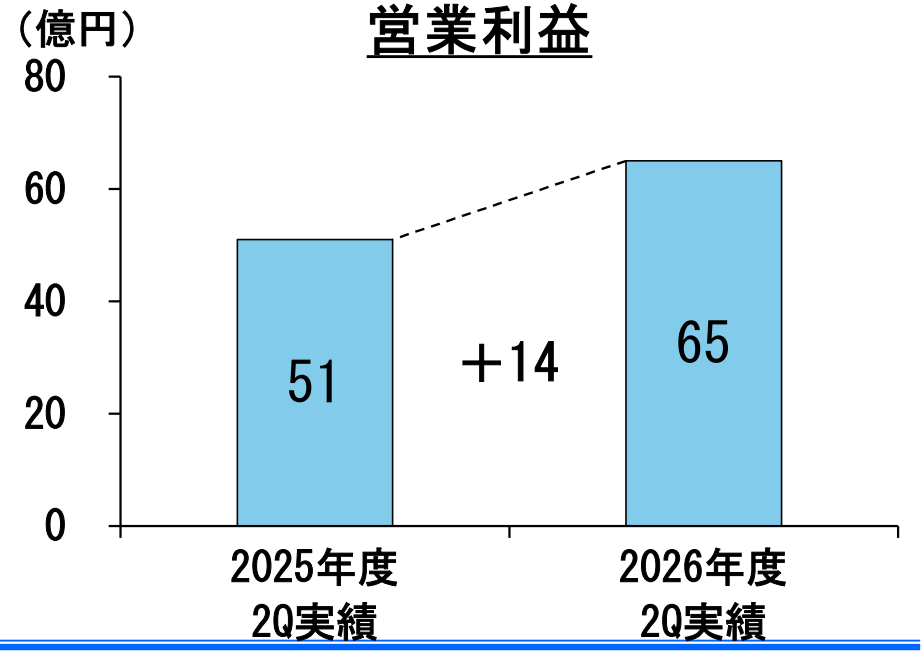


- 再生可能エネルギー導入拡大を背景に系統用蓄電所向け案件が増加し、EMS関連受注が高水準で推移
- 国内電力向けはデータセンター新増設に伴う大形変圧器の需要が増加

「エネルギーマネジメント」セグメント　売上高・営業利益

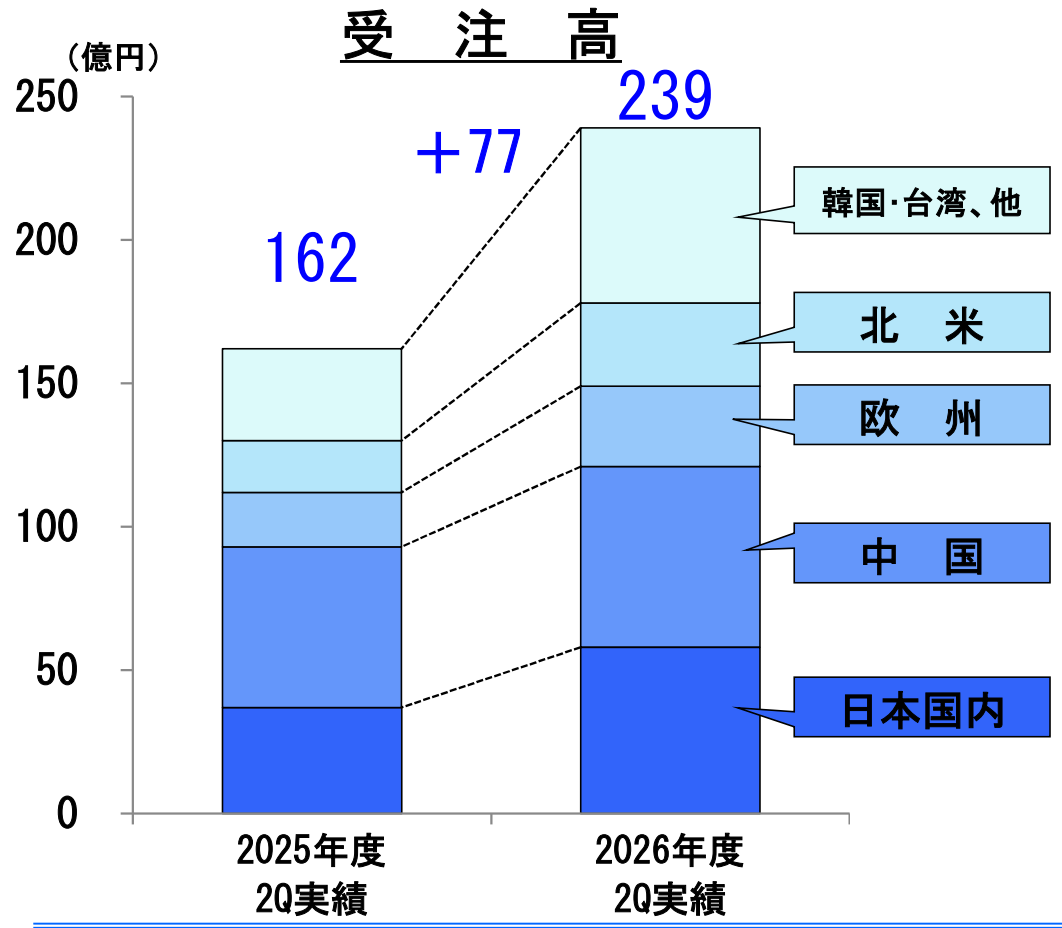


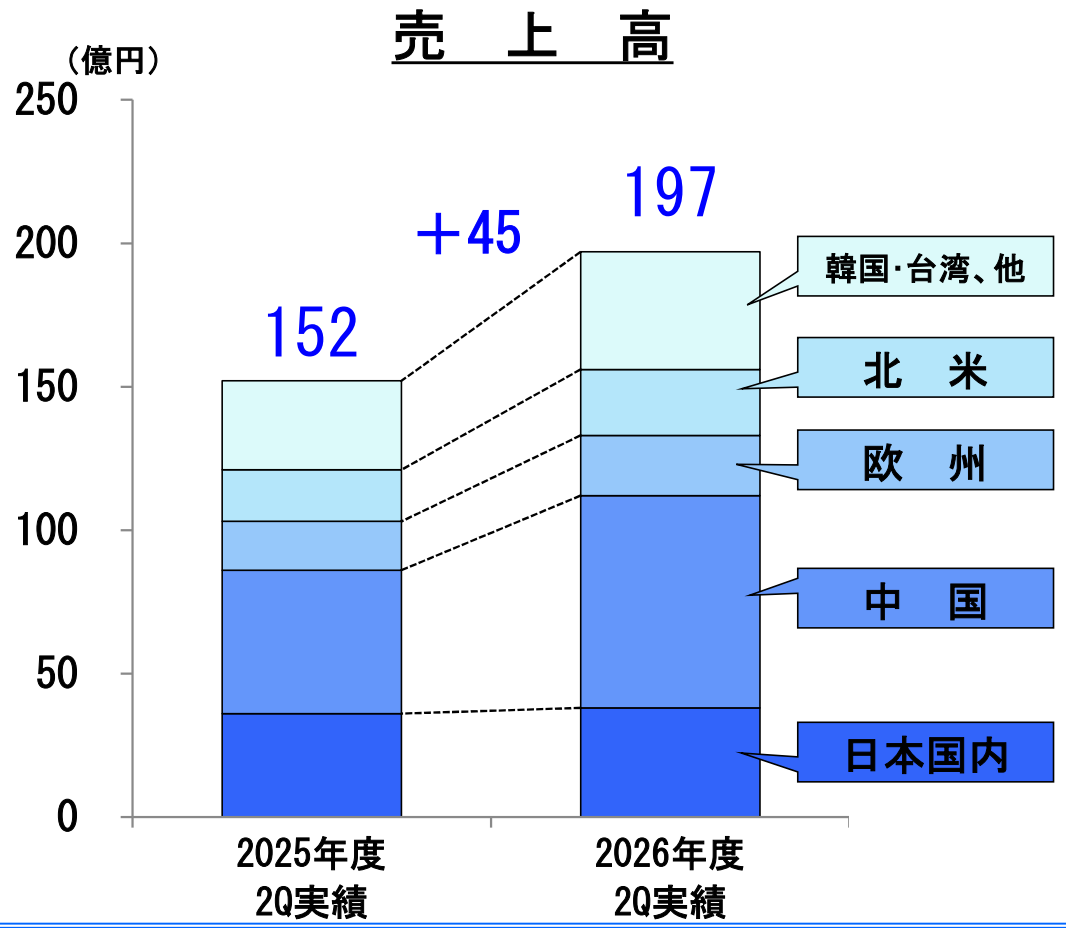
・ＥＭＳ関連の販売増加と
コスト削減効果により増益



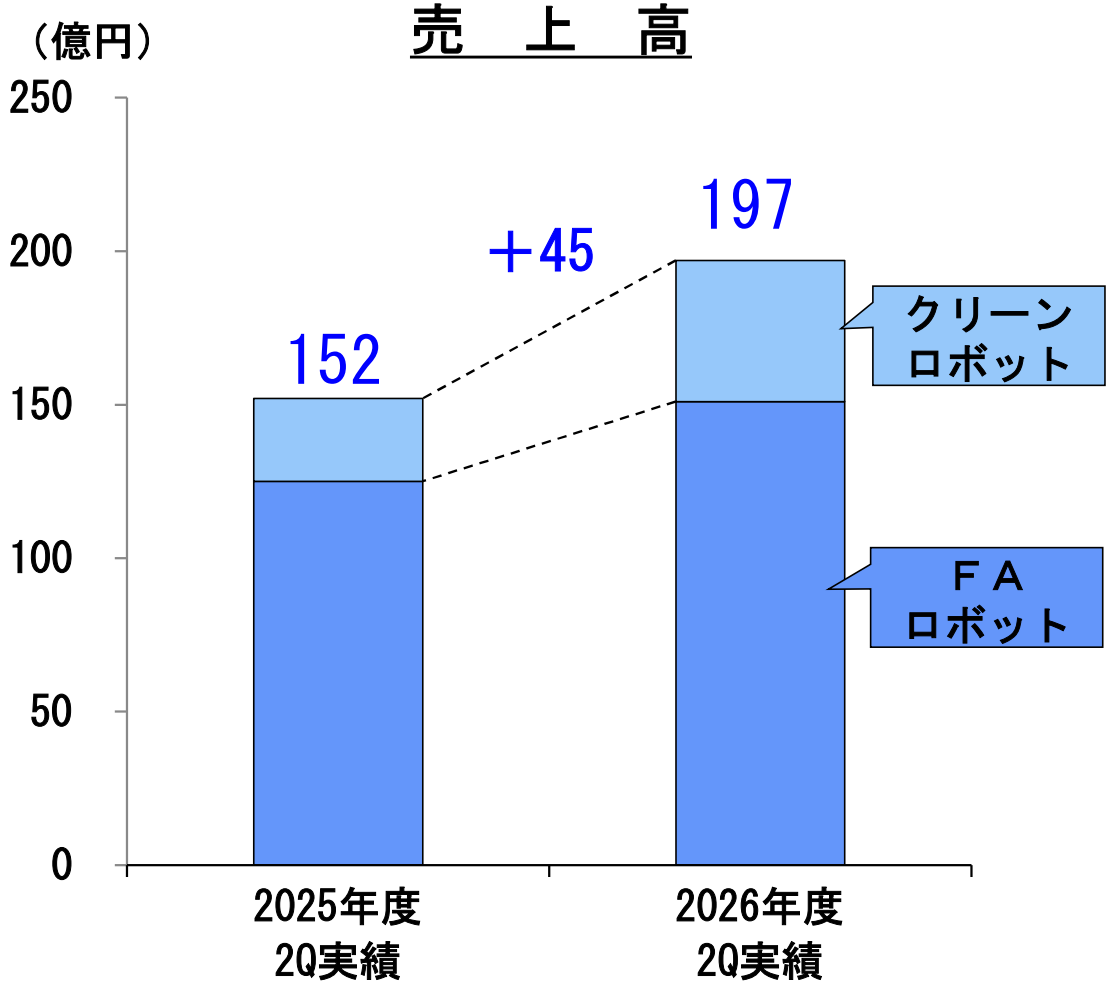
「ファクトリーオートメーション」地域別受注高・売上高

・全地域で生産自動化投資が回復し、受注高･売上高ともに増加

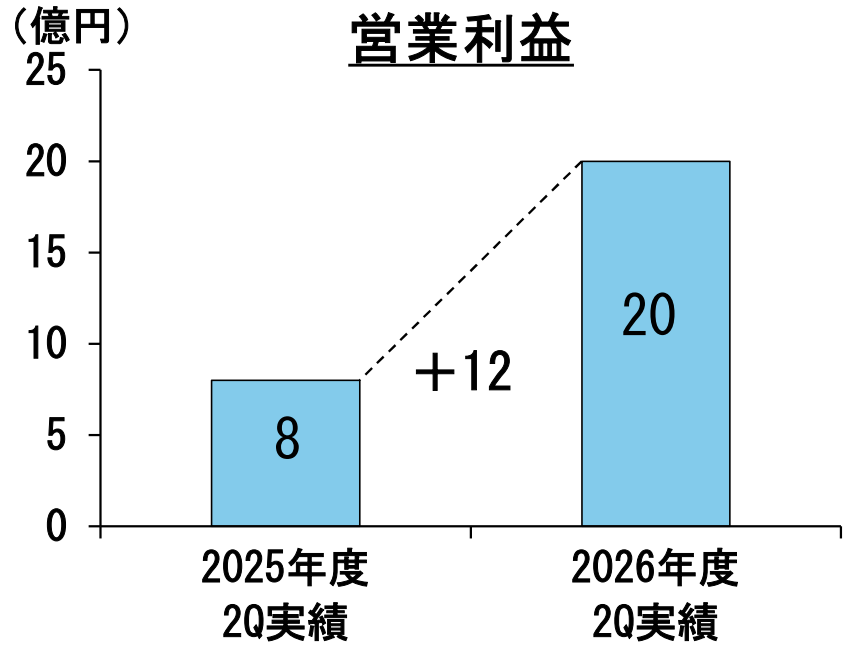




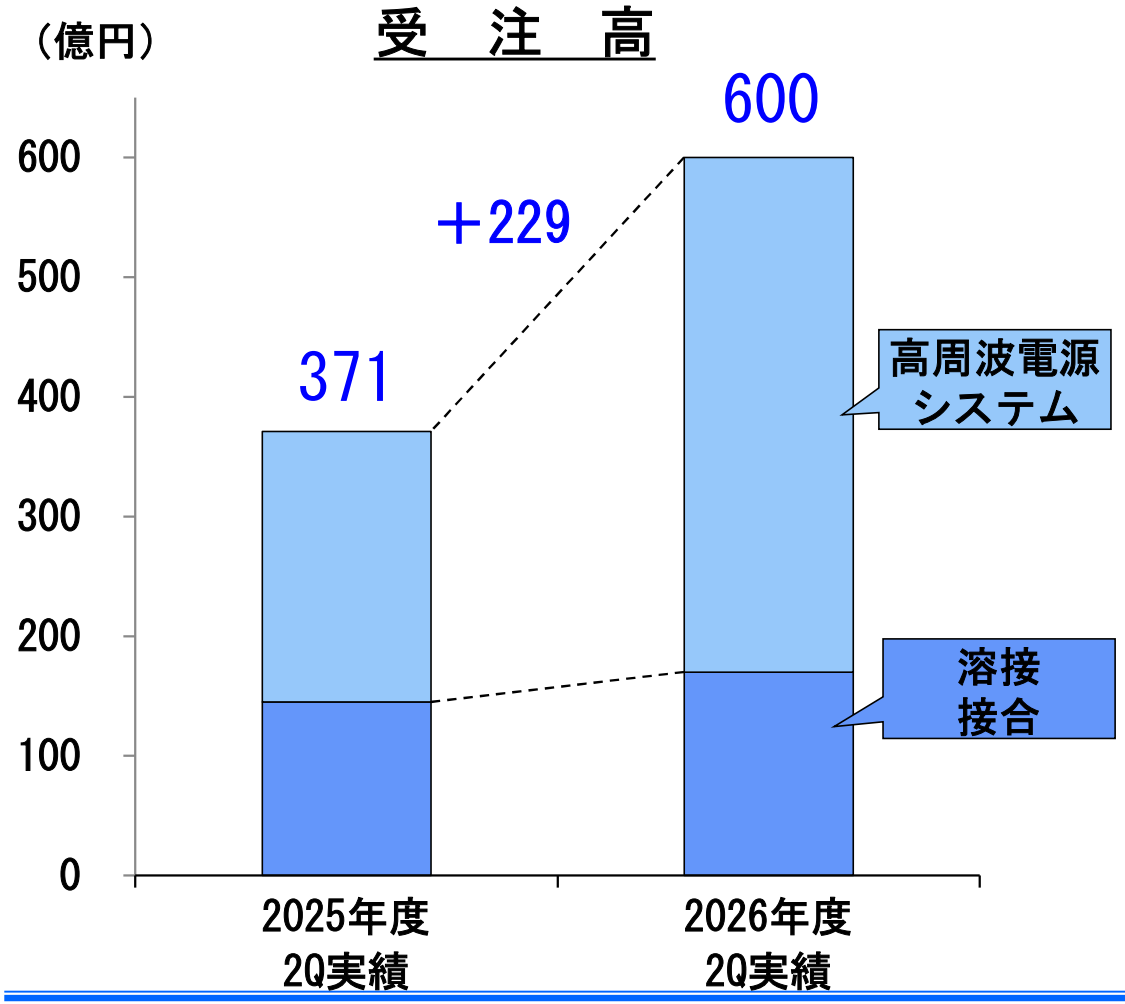
「ファクトリーオートメーション」セグメント　売上高・営業利益



・国内外での生産自動化投資の回復と
半導体製造装置用搬送ロボットの
需要増加により増収･増益

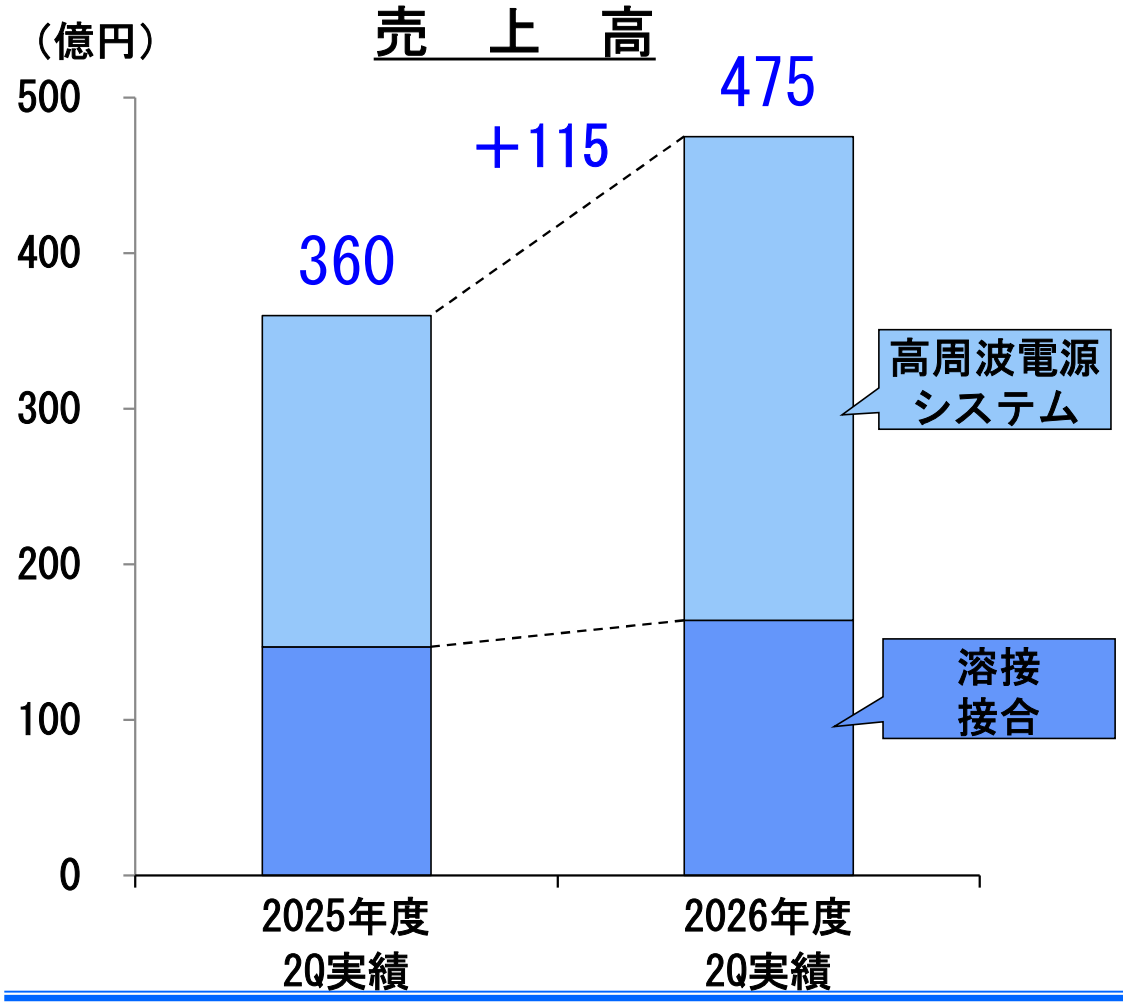


「マテリアルプロセシング」セグメント　受注高

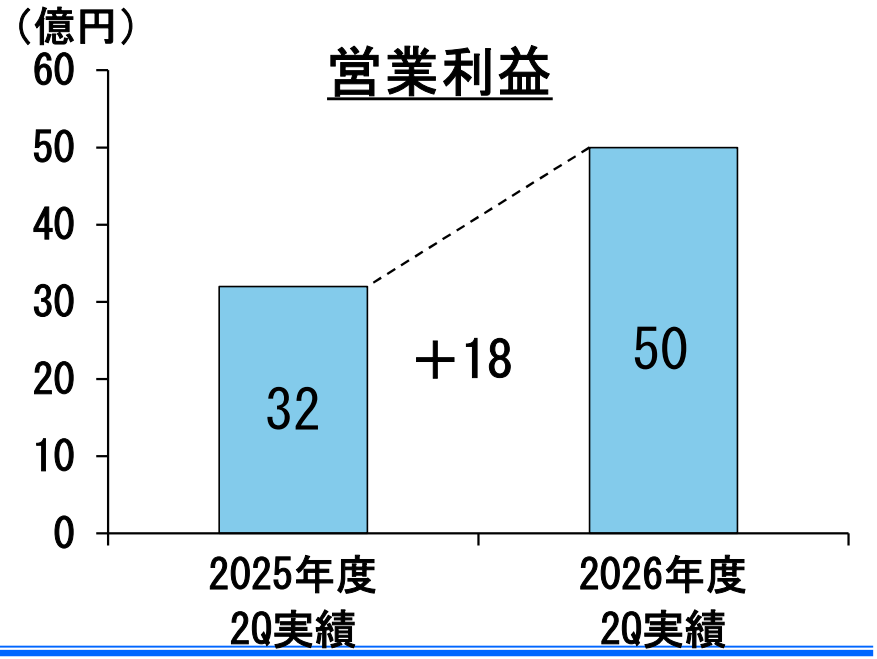


- 高周波電源システムはデータセンター向け高性能半導体の設備投資が高水準で推移
- 溶接･接合は造船や建機向けの需要が回復し増加

「マテリアルプロセシング」セグメント　売上高・営業利益



・高周波電源システムの需要が高水準で推移、溶接機器の増加もあり増収･増益



通期業績予想

・第３四半期以降も半導体関連投資や蓄電池システムの需要が想定以上に増加することが見込まれるため、通期業績予想を上方修正(2026年10月29日公表)
・売上高･利益ともに過去最高更新の見通し

（単位：億円）

	2025年度 実績 ①	2026年度 予想 ②	前年度比 ②-①	前年度比 増減率	2026年度 当初予想比 増減額	2026年度 当初予想比 増減率	2026年度 中計目標
売上高	2,377	3,000	+623	+26.2%	+200	+7.1%	2,500
1 エネルギーマネジメント	*1,282*	*1,470*	*+188*	*+14.7%*	*+130*	*+9.7%*	
2 ファクトリーオートメーション	*329*	*430*	*+101*	*+30.7%*	*+20*	*+4.9%*	
3 マテリアルプロセシング	*764*	*1,100*	*+336*	*+44.0%*	*+50*	*+4.8%*	
営業利益	7.9% 187	10.0% 300	+113	+59.8%	+50	+20.0%	10.0% 250
経常利益	8.5% 201	10.2% 305	+104	+51.7%	+50	+19.6%	
親会社株主に帰属する当期純利益	5.9% 141	6.7% 200	+59	+41.8%	+35	+21.2%	

開発投資・設備投資・減価償却費

（単位：億円）

	2025年度 実績 ①	2026年度 予想 ②	前年度比	
			②-①	増減率
開発費投資額	75	88	+13	+17.3%
設備投資額	134	200	+66	+49.3%
減価償却費	69	86	+17	+24.6%

将来予想に関する注意事項

・本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。

・なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。
  - 主要市場における経済情勢及び需要・市況の変動
  - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
  - 為替相場の変動
  - 原材料価格の相場変動
  - 競争企業の製品･サービス、価格政策、Ｍ＆Ａなどの事業展開
  - 弊社の提携等に関するパートナーの戦略変化